


川づくりコーディネーター登録シート

まえだ		みずき	
前田		瑞貴	
活動を希望する地域	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> その他 ()		
活動可能な曜日・時間	平日、土日の日中		
得意・専門とする分野	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽計画のモデル地の選定や、材料調達、植栽 ・緑地のモニタリングを行い植栽管理内容にフィードバックする順応的管理 ・都市緑地やモデル地での植生調査 ・地域の在来植物が植栽された空間を活用した環境教育 		
略歴(川づくりコーディネーターに関連する学歴・職歴・実務経歴など)			
<p>学歴 2016年3月 横浜国立大学 理工学部 建築都市環境系学科 卒業</p> <p>2018年3月 横浜国立大学大学院 環境情報学府 環境生命学専攻 修士課程 卒業</p> <p>職歴 2018年9月 箱根植木株式会社 入社</p> <p>入社後、地域の在来植物を使用した緑化担当として、緑地の施工、維持管理、地域性種苗を活用した生育実験協力、環境再生事業、大学や一般市民を対象とした環境教育を担当し、地域性種苗や絶滅危惧種の生息域外保全に関する論文を日本造園学会へ投稿した。</p>			
自己PR(得意な分野、担当したい内容など)			
<p>都市の水辺や緑地に関わる地域の在来植物が得意分野である。在来植物の中でも、地域の在来植物である地域性種苗に特化している。現在の仕事として地域性種苗の自生地探索、植生調査、種子や苗の調達、育苗(圃場がある種苗屋協力のもと)、植栽施工、植栽維持管理(順応的管理)に携わる。</p> <p>地域性種苗は生物多様性の遺伝的多様性にまで配慮した緑化に貢献すると知られているが、近年広がった考え方であり、発展途上にある分野である。まだまだ一般への認知度が低く、今後の地域性種苗普及のためには認知を広げる必要がある。川づくりコーディネーターでは地域性種苗を活用した川づくりや、関わる人々に対して地域の植物の魅力発信に携わってみたい。地域性種苗を活用することで人も生きものも集えるような川づくりを目指したい。</p>			
その他			
特になし。			

川づくりコーディネーター登録シート

川づくりコーディネーターに関連する実務経歴など	
分野	水辺の植栽の維持管理
地域名	東京都杉並区
時期	2018年10月～2023年10月
実務の内容 （プロジェクトの内容、 担当、成果など）	地域性種苗が植栽された親水施設の植栽維持管理を担当した。維持管理の目的として、地域の植物が生い茂る憩いの場の維持が掲げられていた。そこでモニタリングを実施し、植物種を確認し、植栽されていない植物であっても周辺地域に出現する在来植物であれば残し、地域として適さない在来植物、過剰に繁茂した在来種や外来植物を選択的に除草した。結果、当初30種の植物が植栽された空間に、5年間のべ200種の植物が出現し、目的に沿った空間として維持された。
分野	水辺の地域性種苗の導入
地域名	東京都港区
時期	2019年12月～2020年6月
実務の内容 （プロジェクトの内容、 担当、成果など）	東京湾の干潟の再生プロジェクトとして、海辺の植物の提案から導入を担当した。干潟の植物を提案する為に、東京湾に自生する海辺の植物を探し、自生地での植生調査を行った。植生調査結果をもとに植栽計画を作成後、自生地での地権者と交渉し、種子採取の許可を頂き、導入予定植物の種子採取をした。採取した種子は協力会社の圃場と連携し、栽培した。結果、干潟の植物7種1,280株、海浜植物14種1,920株を干潟再生地に植栽できた。
分野	河川の植物に関わる環境教育
地域名	東京都世田谷区
時期	2018年11月～2022年11月（2023年は荒天の為中止）
実務の内容 （プロジェクトの内容、 担当、成果など）	商業施設の屋上緑地で環境省RDBにて絶滅危惧Ⅱ類に指定されているカワラノギクの生息域外保全を行っている。カワラノギクを一般市民に広く認知いただくべく、2015年より毎年観察調査イベントを実施している。私は2018年よりイベント運営を担当している。イベントではカワラノギクの形質の計測や逸出個体の探索を行った。イベントで得られたカワラノギクの個体情報は、生息域外保全地の維持管理作業の参考値として利用した。アンケートより、カワラノギクをこれまで知らなかった層に対して観察会が実施できたと判明した。